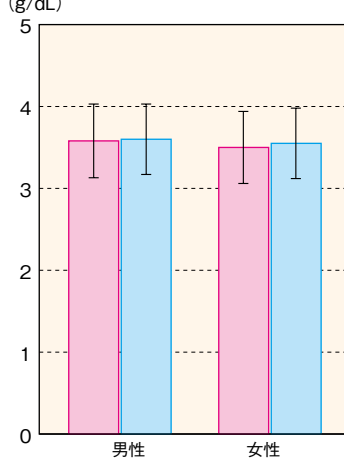


## 5) 糖尿病患者の透析

### (3) 糖尿病透析患者の栄養および炎症 (図表53)

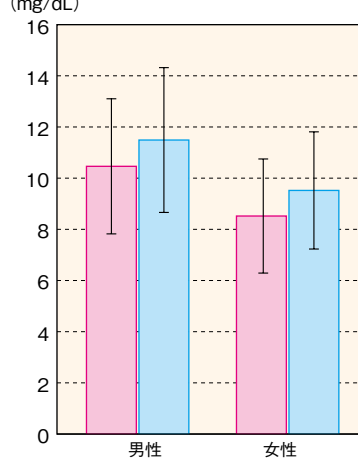
\*「糖尿病あり」とは、原疾患が糖尿病性腎症または、糖尿病の既往がりの患者。  
「糖尿病なし」とは、原疾患が糖尿病性腎症以外で且つ糖尿病の既往がなしの患者。

アルブミン濃度の比較



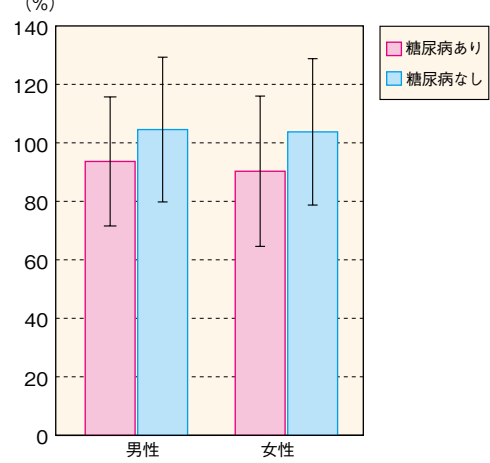
		糖尿病あり	糖尿病なし
男性	平均	3.58	3.60
	標準偏差	0.45	0.43
女性	平均	3.50	3.55
	標準偏差	0.44	0.43

クレアチニン濃度の比較



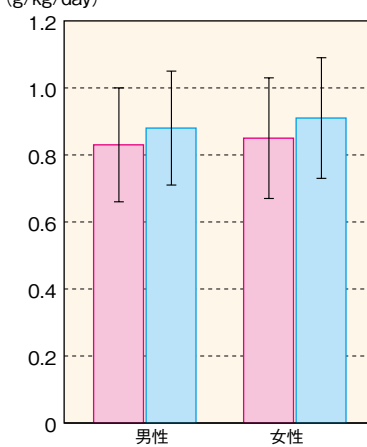
		糖尿病あり	糖尿病なし
男性	平均	10.46	11.49
	標準偏差	2.64	2.83
女性	平均	8.52	9.52
	標準偏差	2.23	2.29

%クレアチニン産生速度の比較



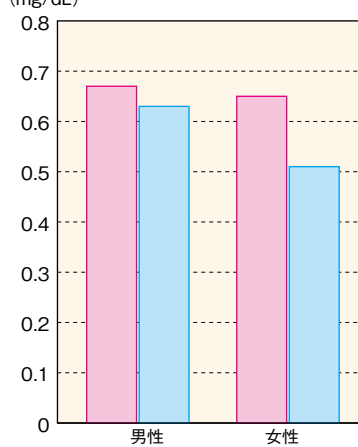
		糖尿病あり	糖尿病なし
男性	平均	93.64	104.54
	標準偏差	24.91	24.75
女性	平均	90.29	103.75
	標準偏差	25.70	25.03

nPCRの比較



		糖尿病あり	糖尿病なし
男性	平均	0.83	0.88
	標準偏差	0.17	0.17
女性	平均	0.85	0.91
	標準偏差	0.18	0.18

CRP濃度の比較



		糖尿病あり	糖尿病なし
男性	平均	0.67	0.63
	標準偏差	1.92	1.78
女性	平均	0.65	0.51
	標準偏差	1.94	1.59

\*SDバーを非表示



集計対象：透析患者全体

クレアチニン濃度、%クレアチニン産生速度、nPCRの集計に関しては週3回透析、透析歴2年以上

#### 解説

糖尿病透析患者の栄養と炎症の指標について、糖尿病なし患者と比較した。

糖尿病透析患者におけるアルブミン濃度は、糖尿病なし患者と同等であった。その一方でクレアチニン濃度、%クレアチニン産生速度については、糖尿病透析患者で明らかに低く、nPCRについても同様に低い傾向を示した。

CRP濃度は糖尿病透析患者において高い傾向であり、その傾向は女性で顕著であった。糖尿病透析患者では炎症が関与して栄養状態が悪化するリスクが高いことが示唆された。